

知財創造教育推進コンソーシアム

推進委員会（第4回）

普及実践ワーキンググループの 進捗報告

2020年7月20日

内閣府 知的財産戦略推進事務局

検討委員会の中に、学校関係者等の有識者によるワーキンググループを立ち上げ、今後の普及・実践に向けた具体的な取組を検討する

知財創造教育推進コンソーシアム 検討委員会

WGの設置 ↓ ↑ 検討結果の報告

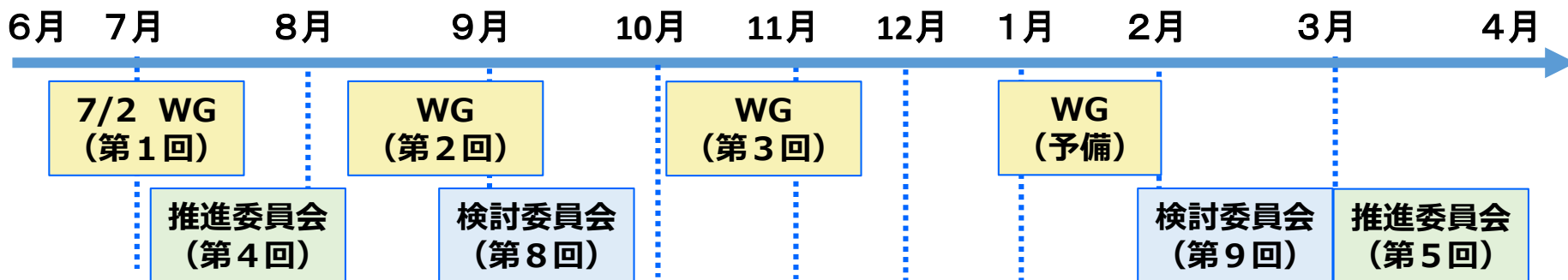
普及実践ワーキンググループ
(学校関係者 + オブザーバー)

ワーキンググループの検討事項（予定）

- with/afterコロナ×知財創造教育
- 学校や教員を後押しする仕組み
- 秀逸な教材や取組等を表彰する仕組み
- 教員及び教員を志す学生に向けた取組

	氏名	区分	所属・役職等
	糸乗 前	大学	滋賀大学教育学部 学校教育教員養成課程理科専攻 教授
◎	木村 友久	大学	帝京大学 共通教育センター センター長
	世良 清	高校	三重県立四日市商業高等学校 教諭
	原 直子	中学	東京都立桜修館中等教育学校 教諭
	針谷 玲子	小学	台東区立蔵前小学校 校長

※五十音順、敬称略、◎は座長



推進委員会（第4回）および検討委員会（第8回）では進捗、年度末に開催予定の両委員会では最終報告を行う

- キックオフ：7/2（木）16:00-17:30
with/afterコロナにおける「知財創造教育」の在り方

本日報告

- 第2回：8月下旬を予定
 - ・学校や教員を後押しする仕組み
 - ・秀逸な教材や取組等を表彰する仕組み
- 第3回：10月下旬を予定
 - ・教員及び教員を志す学生に「知財創造教育」の実践してもらうための取組
 - ・とりまとめ
- 第4回（予備）
 - ※状況に応じて開催

新型コロナの拡大による教育現場を取り巻く環境の変化

- オンライン授業の広がり、改正著作権法の早期施行に伴い、**教材等における著作権を意識すべき機会**が急激に増加

しかし・・・

- ・著作権に対する知識・意識が不十分な教員もいる。生徒に重要性を教えられていないのではないか
- ・オンライン授業のマニュアルをいくつかの学校から収集したところ、著作権に触れている学校はなかった
- 生徒・教員共に、**デジタル技術を活用する機会が急激に増えている**
- ソーシャルディスタンスやマスク着用等、**対面式での授業に工夫が必要**
- 教員はこれまで以上に多忙。**新しいことにチャレンジする余裕を持ちづらい**



「知財創造教育」へのニーズ

- ◆ 教員が著作権を学ぶための環境を整備し、知財に対する意識向上を図る必要があるのではないか
- ◆ デジタル技術の接点が増えた生徒に対して、「創造」と「尊重」を柱とした「知財創造教育」を、より一層進めるべきではないか。

<ワーキンググループでの主な意見>

- ・ 現場の**教員が著作権を意識**できるような取組が必要。教員研修で使える**著作権の教材**があれば共有していきたい
- ・ **教育現場での著作物使用に関する問題など、身近な事例**を取り上げると良い
- ・ 学校紹介の動画を生徒が作成する取り組みの中で、**使用する楽曲の著作権について触れるきっかけ**を作った
- ・ 従来の形式では難しい**学園祭をオンラインで開催**すべく、生徒達が検討を進めているところ